

恩師、安積75期生、同窓生へ 発行部数 三百十部、老後の生き方を真剣に問い掛ける豆新聞 住所変更乞う連絡。

七五期

葉書きの同級会

▼本年も沢山の同期生から年賀状が届いた。添え書きの近況報告を紹介する。▼

左記の様に3年間の単身生活を終えて家に戻った。新住所福島市笹木野字立田5

- ☎024-58-6106鈴木暉夫⑤▼長男も昨年福島に就職しました。去年は吾妻2回、安達太良1回、尾瀬2回、仲々山へ行けそうで行けません。根本宏一⑤▼小生も教職30年が過ぎ最近の子供達の人間関係の弱さが

目に付きなんとかしなければと言う気持ちです。本年も課題多い年になりそうですが、健康に留意して勤めて行きたいと考えている。

渡辺英司③▼昨年はどうとう永年勤続の表彰を受けてしまった。これからは気楽な下り坂の人生。コケないようマイペースでのんびり楽しみたいと思う。国分洋⑦▼「首都移転」「未来博」一方で「低教育」こんな福島でいいのか！と知事選をたたかった。伊藤正志⑥▼私は商売は最終的に『人』だと思っている。同じサービスマンに携わる者として、

今年はいかにお客様の『顔』を知る。つまりお客様にいかにか深く入って行くかを実行して行こうと思ってる。阿部正利③▼手掛けた東京国際フォーラム1月10日オープン。その施設の説明や講演で昨年は忙しかった。きまぐれに男声合唱で

景気をつけ頑張っている横山豊⑦▼柳沼弥重恩師が版画の打止めを宣言して3年になる。続いて私が年の割に頭も休も柔らかいと尊敬する高橋邦二恩師の版画をのせる。▼2月8日⑤幹事の同期会、楽しみにしている。出席予定者75名との事

